

ビジョン
食を通じた地域の支え合い
を広げよう



一般社団法人

全国食支援活動協力会

Meals on
Wheels Japan

専務理事 平野覚治



全国食支援活動協力会とは

1986年高齢者配食サービス・会食会の
連絡組織として設立しました。



全国各地で食支援活動を展開する市民活動団体の自主性
と相互扶助を尊重し、活動団体のサポートを通じてあら
ゆる世代の豊かな食環境の整備をめざします。

地域福祉と健康の増進に向けて、横断的で学術的な視点
をもって産官学民のネットワークを推進し、豊かな地域
福祉社会づくりに貢献します。



「広がれ、こども食堂の輪！」全国ツアーを通した普及活動

〈子どもの居場所〉の理解・普及がすすんだ

2016年9月～2019年2月までに
目標の **50か所** での開催を達成！

全国ツアー
総動員数 **1万人突破！**



赤い羽根福祉基金

×

広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー

広がれ、こども食堂の輪！活動ガイドブック
シリーズ3部作を作成・配布



41,400部



25,000部
+ 増刷2,000部



25,000部



25,000部
+ 増刷4,500部

あんしんして活動を続けるための運営ノウハウを伝播

各地の活動団体のほか、全国の都道府県市町村子ども家庭支援部署・
社会福祉協議会・単位民児協に配布

子どもの貧困（体験や交流を含む）と向き合うこども食堂等居場所を支えるためのサポートセンターのモデル化

こども食堂等居場所への支援を展開することで、活動団体の運営を支え、当該地域における子どもの健やかな成長等に貢献することを目指す。こども食堂の立ち上げ支援や、運営のサポートや地域資源との連携強化などを行うことでソフト面を支援するためのプロジェクト。

想定する事業活動

相談支援
研修

子どもの居場所
ネットワーク形成

こども
食堂

活動環境の整備
行政との連携

情報発信
ニーズ調査

コロナにより…

**食品の寄贈マッチング
食料支援のニーズ大
運営継続の不安大**

非資金的
支援

運営ガイドブック類の提供
モデル事例の紹介／研修開催支援
支援のルート開拓・企業との連携強化

実行団体

寺子屋方丈舎
こどもの居場所サポートおおさか
コミュニティシンクタンク北九州
那覇市社会福祉協議会



休眠預金活用事業

実施主体

- 一般社団法人全国食支援活動協力会
- 千葉大学人文科学研究院 清水洋行研究室

アンケートの目的

- 食支援活動の現状と意義・課題の把握
- 寄付された食材・食品を各地域の活動に届ける食材支援のあり方を検討する資料とする

アンケートの対象・回答活動の概略

- 活動の状況:
  - ①2021年7月時点で実施中の食支援活動
  - ②2021年7月時点で休止中の食支援活動

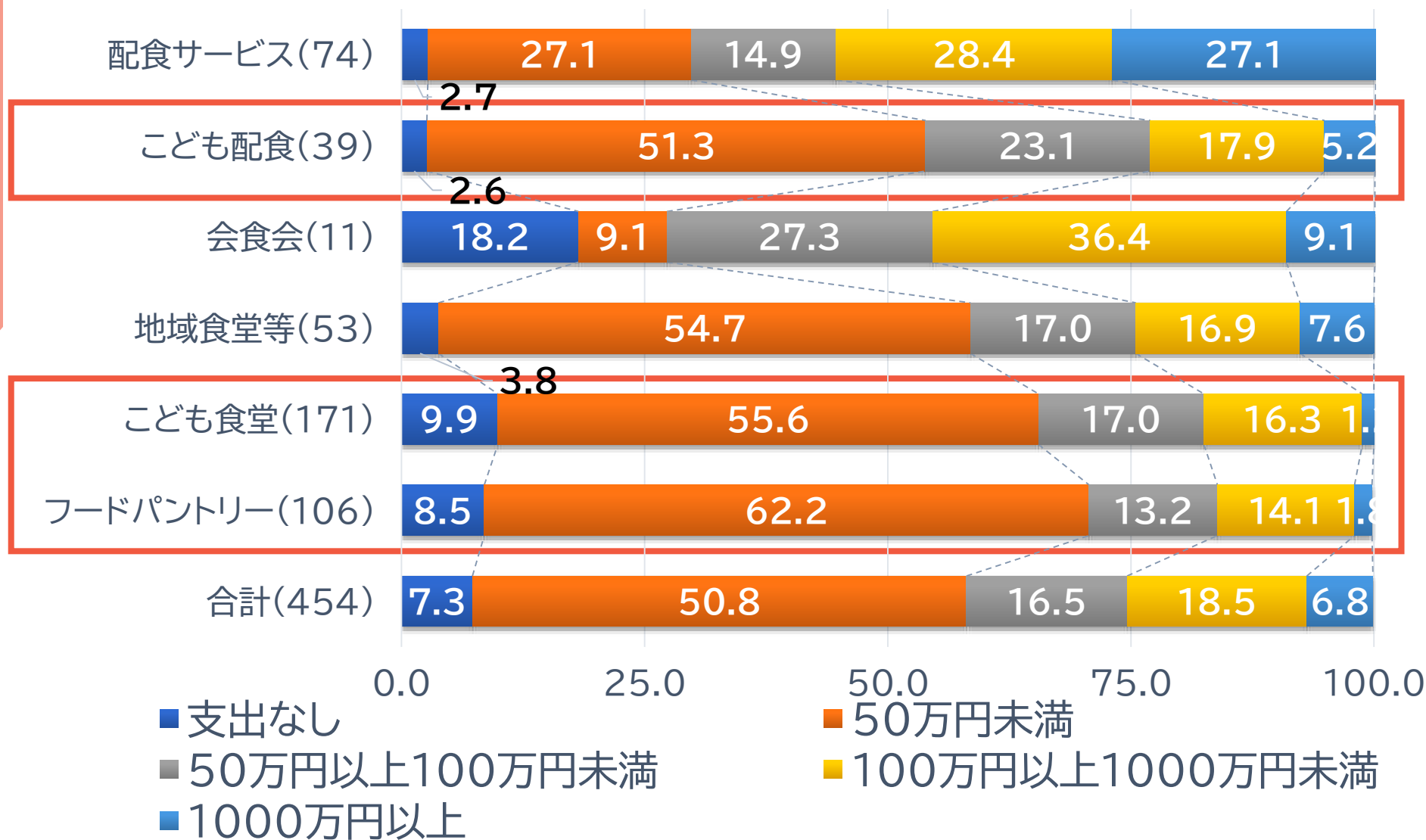
出典：「コロナ禍における食支援活動の現状と食材支援に関する調査」（暫定版）一般社団法人全国食支援活動協力会
2021.10.10食フェスタ東京配布資料

コロナ禍における食支援活動の現状と食材支援に関する調査

活動の種類	①活動中	②活動休止中	合計
配食サービス	84	3	87
こども配食	39	1	40
会食会	11	9	20
地域食堂・多世代食堂、 コミュニティカフェ	56	28	84
こども食堂	178	37	215
フードパントリー	109	2	111
不明・無回答	3	1	4
合計	480	81	561

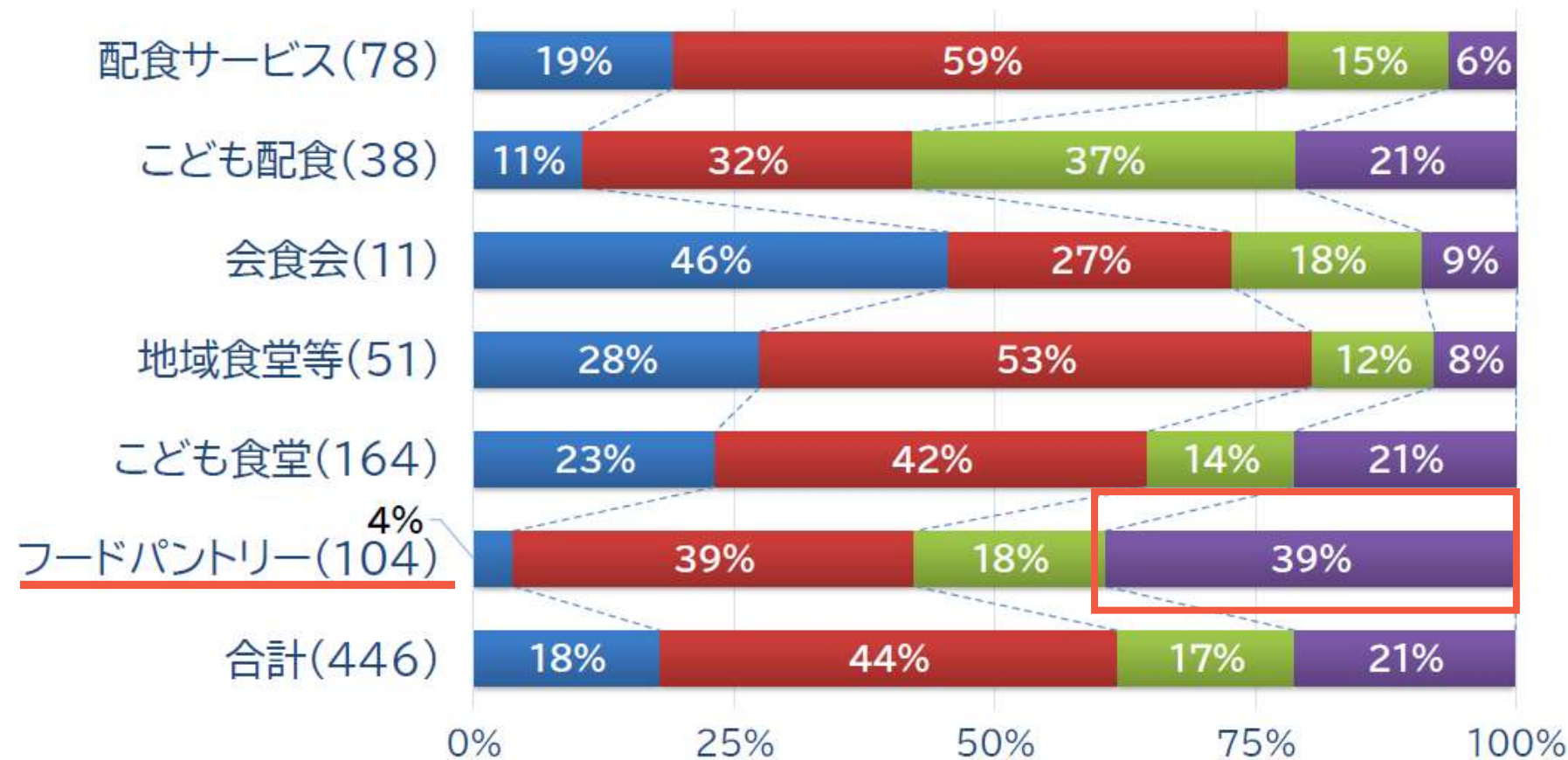


活動種類別の年間支出額【実施中の活動】





活動の種類別にみた活動経緯【実施中の活動】

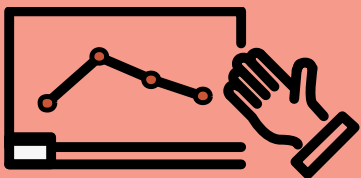


- コロナ禍でいったん休止し再開した
- コロナ禍前からずっと続けている
- コロナ禍の前の対象者を別のかたちで支援している
- コロナ禍以降に新たに始めた



活動種類別・寄付してほしい食材・食品 【実施中の活動】

	なし	米	肉、魚	野菜、 果物	冷蔵・ 冷凍の 総菜・ 食材・ 食品	レトル ト食品、 インスタ ント食品	調味料	菓子類	飲料	お弁当	その他
配食サービ ス(77)	21%	33%	9%	7%	0%	7%	16%	3%	4%	1%	1%
こども配食 (36)	6%	22%	47%	6%	3%	6%	0%	0%	3%	8%	0%
会食会(11)	27%	36%	18%	0%	0%	0%	9%	9%	0%	0%	0%
地域食堂等 (50)	10%	24%	28%	10%	8%	2%	4%	4%	6%	2%	2%
こども食堂 (165)	2%	27%	35%	4%	7%	10%	1%	6%	2%	2%	3%
フードパン トリー(99)	3%	39%	13%	3%	5%	25%	3%	4%	1%	1%	2%
合計(438)	8%	30%	25%	5%	5%	11%	5%	4%	3%	2%	2%



食材・食品の寄付を受けるうえでの困りごと 【実施中の活動】

	寄付を受ける必要はない	困りごとはない	量が足りない	量が多すぎる	必要な食材・食品の寄付が少ない(少ない)	保管スペースがない(足りない)	冷蔵・冷凍設備がない(容量不足)	受け取る場所が遠い	運搬手段がない	寄付に関する情報に入らない	その他
配食サービス(76)	8%	17%	8%	7%	25%	30%	33%	12%	8%	28%	9%
こども配食(36)		13%	15%	8%	23%	49%	49%	21%	10%	13%	10%
会食会(11)	18%	36%			46%	36%	18%	9%	9%	46%	
地域食堂等(54)	4%	15%	17%	2%	28%	32%	32%	15%	17%	28%	20%
こども食堂(176)		16%	14%	2%	23%	52%	55%	16%	14%	18%	12%
フードパントリー(106)		4%	34%	3%	26%	52%	57%	19%	17%	17%	16%
合計(462)	2%	13%	18%	4%	25%	45%	47%	16%	14%	21%	13%



活動種類別の「行政・社協からの助成・補助・委託」の状況【実施中の活動】（複数回答）

	受けていない	単年度のものを受けている	3年以内の期限付きのものを受けている	4年以上の期限付きのものを受けている	5年以上継続予定／期限が決まっていないものを受けている
配食サービス(79)	26.6%	46.8%	2.5%	1.3%	25.3%
こども配食(38)	36.8%	42.1%	5.3%		18.4%
会食会(11)	18.2%	54.5%			27.3%
地域食堂等(53)	41.5%	37.7%		7.5%	17.0%
こども食堂(171)	40.4%	49.7%	2.9%		10.5%
フードパントリー(108)	55.6%	40.7%	2.8%	0.9%	4.6%
合計(460)	40.9%	45.2%	2.6%	1.3%	13.5%

コロナ禍で、企業・居場所からいただいた3つの声からMOWLSが始まりました。

【1】

余剰食品を全国の居場所に届けたいけど、22か所までしか運送費は持てません。

【2】

北海道や沖縄には輸送コストの理由からなかなか企業からの寄贈品が届きません。

【3】

コロナ禍でお弁当配布などに切り替えると、食材コストが今まで以上にかかって大変です。

全国の食を通じた居場所へ寄贈品を届けるために、全国各地のネットワーク団体と連携し、企業からの寄贈のハードルを低くできないか

物流 × ストック × シェア

MEALS WHEELS

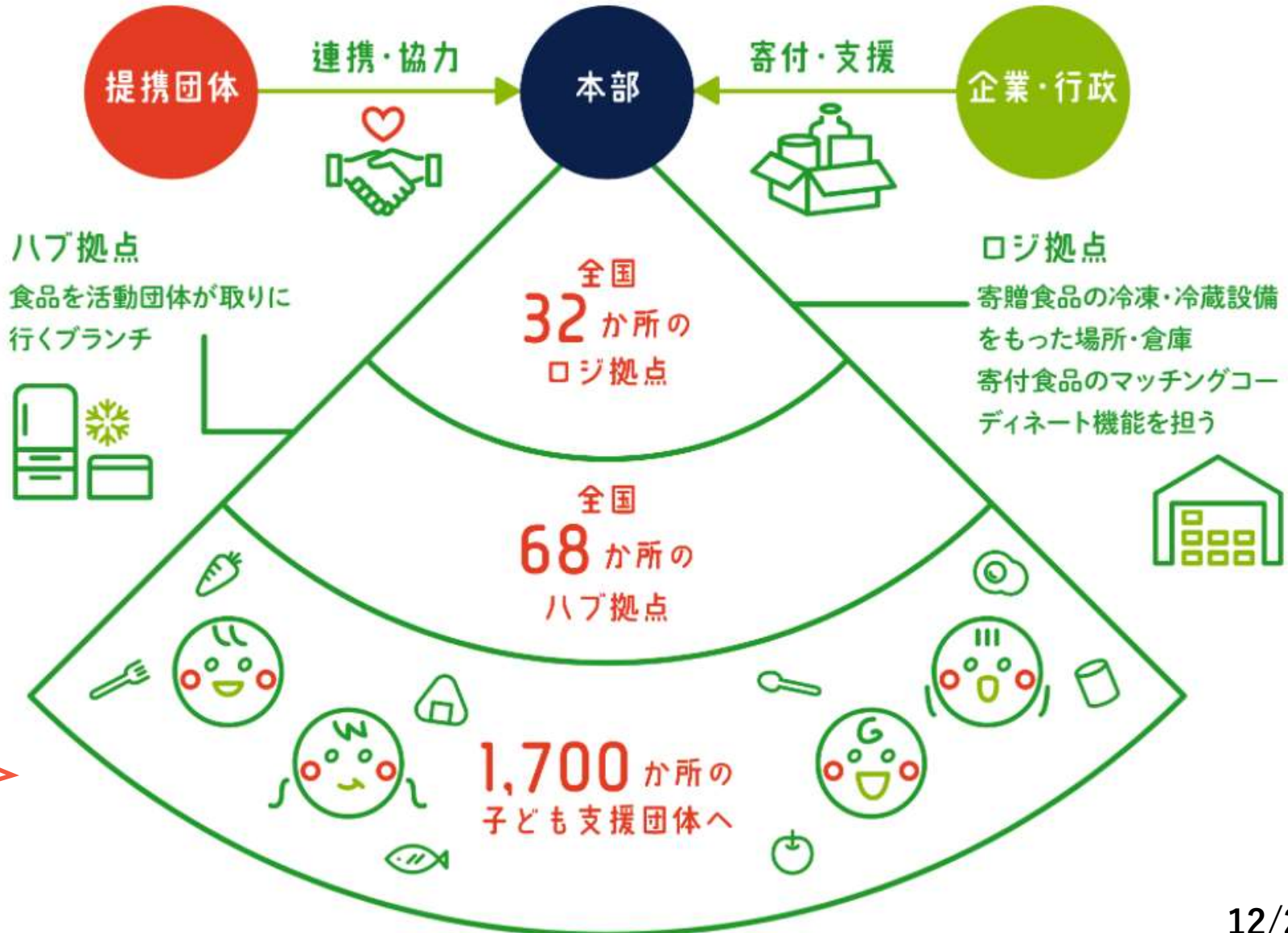
ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム

全国のこども食堂等「居場所」 に集う子どもから高齢者等すべての人が食事を得られる環境づくり

物流×ストック×シェア
MEALS
WHEELS
ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム



寄贈品一例



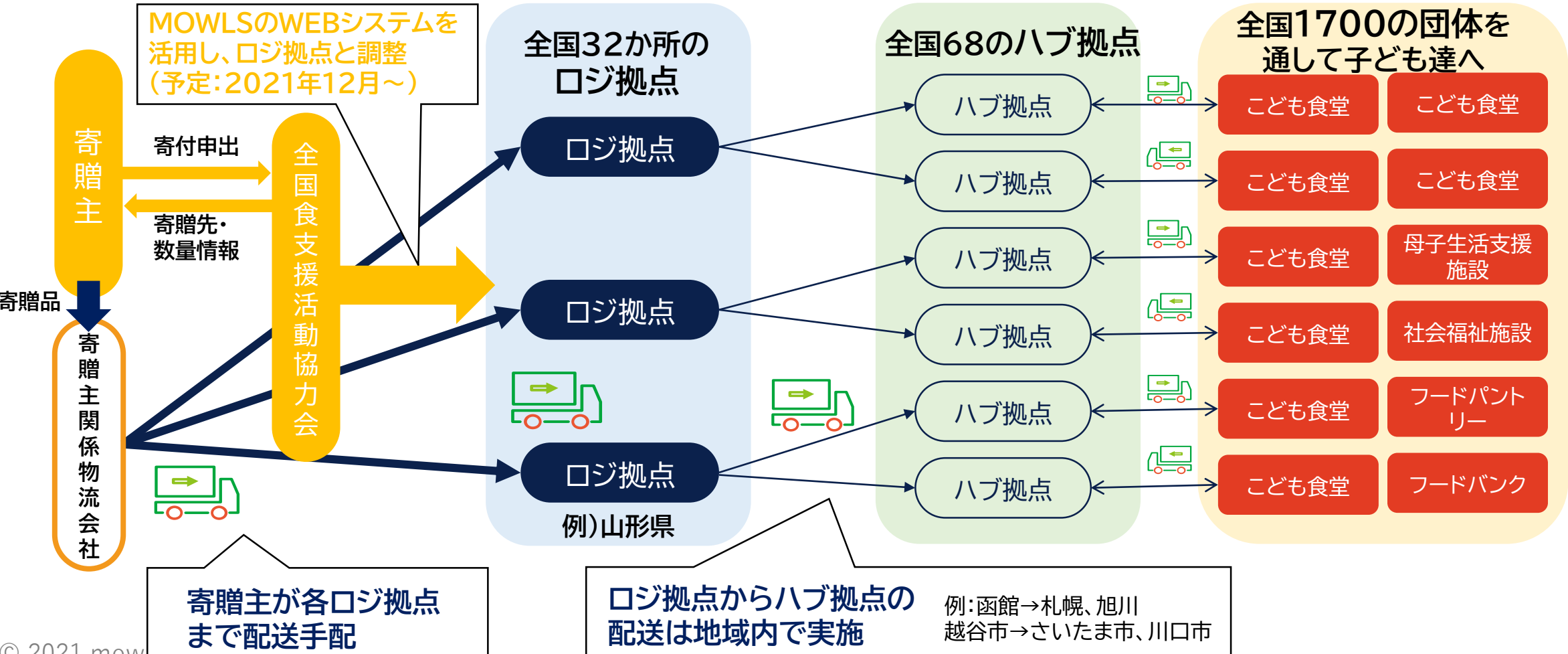
MOWLSの仕組み



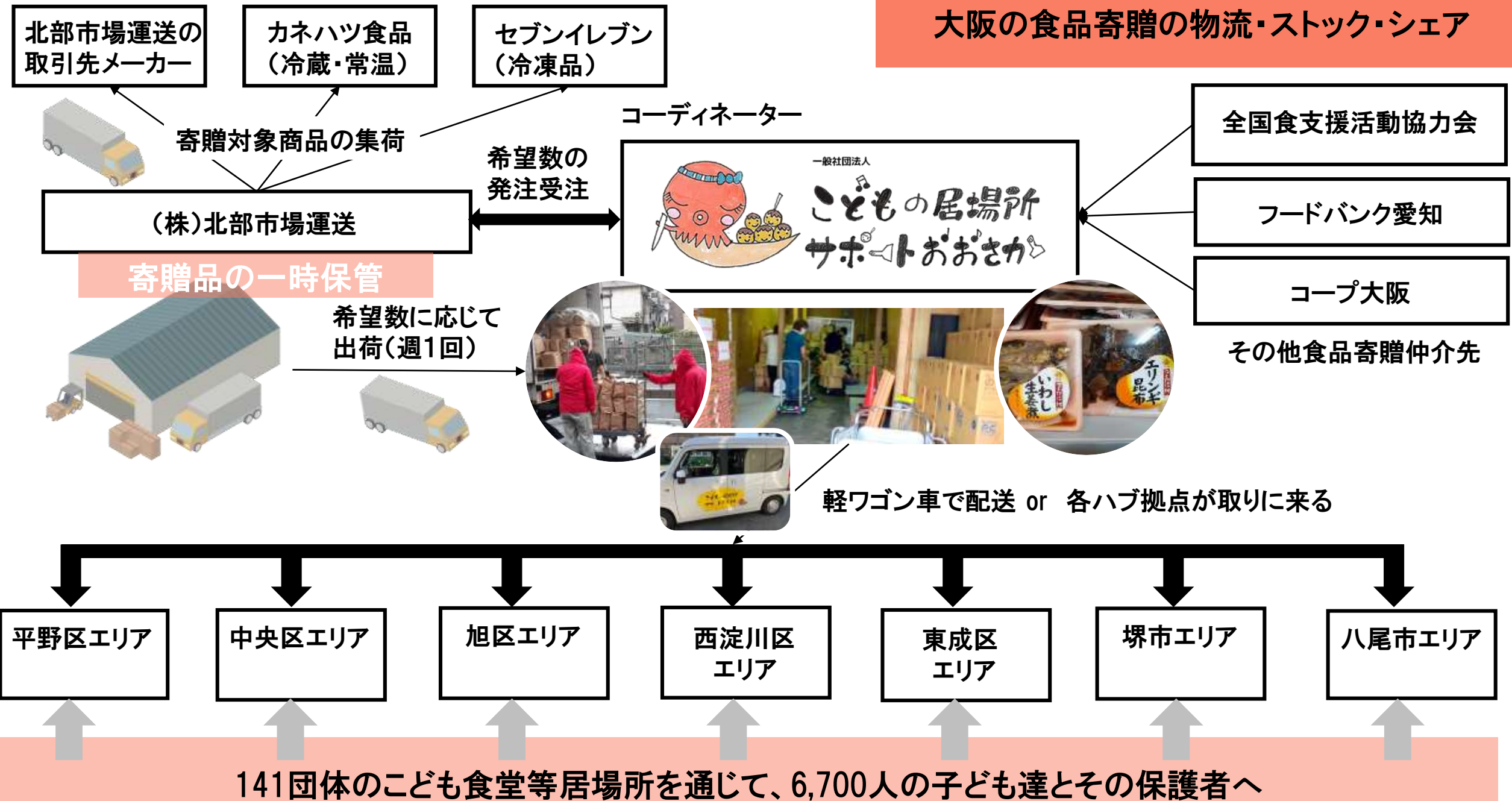
ロジ拠点：
大量の寄贈食品の保管機能をもった場所・倉庫
常温・冷蔵・冷凍の3温度帯に対応



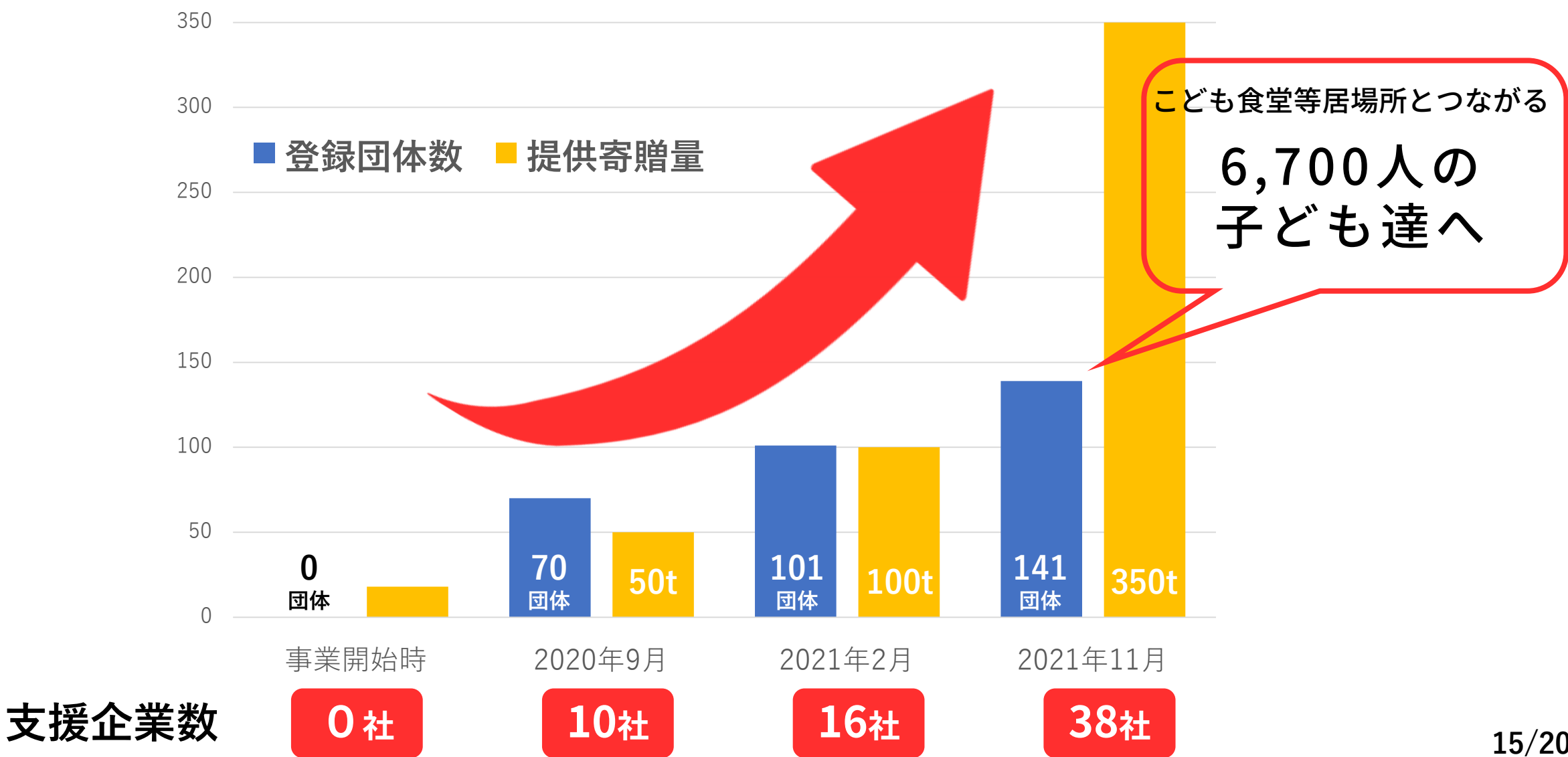
ハブ拠点： ロジ拠点の支店
活動団体が行きける距離に設置された、
冷凍・冷蔵設備を有する拠点



大阪の食品寄贈の物流・ストック・シェア



約 1 年半の活動で、 **3 8 社の企業様**からの様々な支援（寄付・拠点や食材提供・保管・輸送支援）を通じて、 **141のこども食堂＝6,700人以上**の子ども達へ**350tの食材等寄付**を届けられるようになりました。



『MOWLS』の実績

地域の食支援活動を
応援しています

コロナ禍においても活動を
続けるこども食堂、配食団体
フードバンク、母子生活支援など
の食を通して地域の居場所
活動を応援しています。



食品提供企業

17

社・機関

食品等寄贈量

360

トン

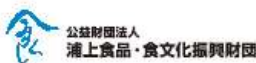
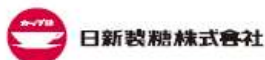
登録団体エリア

22

都道府県

※参考※ フードバンクの平均的な提供トン数 34トン(2018)
公益財団法人流通経済研究所「フードバンク実態調査事業」より

各地域のネットワークによる**全国への食糧支援**の取組として農水省
HPに掲載いただいています



全国共通の課題

物流



配送トラック
(イメージ)

- ・物流会社様による戻り便や
アイドルタイム
を活用した運搬
- ・月1回のルート配送
- ・空きスペースを活用し、荷物を混載

倉庫(ストック)



例:クラレイ株式会社様
冷凍品の受け入れにて協力

- ロジ拠点必要機能**
- ・10トントラックOK
  - ・フォークリフトOK
  - ・パレット卸OK
  - ・大型の保管施設/
大型の冷凍冷蔵庫

例:DENBA株式会社の
技術を活用したコンテナ
冷蔵庫

- ハブ拠点必要機能**
- ・4トントラックOK
  - ・冷凍冷蔵設備



人手(シェア)



- ・食品の期日管理/品質管理
- ・食品受取希望者への対応
(場合によっては配送)

全国各地でのロジシステム説明会・ 業界団体への働きかけ

目 的

- ・全国的な食料支援の取り組み状況の説明
  - ・各自治体や民間機関・団体による食料支援の現状共有
  - ・県域における行政区を跨いだ寄贈品の物流・シェアに向けた意見交換
- ➡広域的な食支援ネットワーク整備の課題意識の共有
- ➡官民連携による支援企業への働きかけの場を促進



11/9 日本ロジスティクスシステム協会@東京



2021年7月19日号 物流ウィークリーへの掲載

対 象

行政・社協等対象地域の物流支援等に関心のある企業
食支援活動を支援する中間支援団体・フードバンク ほか

開催予定

1月13日 大阪
2月1日 愛媛

1月31日 徳島
2月9日 北海道

「子どもの居場所づくり推進に向けた学習会」

内容

好事例の紹介、グループディスカッション、意見交換など

目的

企業・行政・活動団体がゆるやかに連携することで、持続可能な活動となることを目指します

「ロジハブ説明会」（各地で開催）

内容

MOWLSの紹介、地域の食支援の事例報告、情報・意見交換

目的

地域の課題を共有し、多様な機関からなる課題解決に向けた協議体ができることを目指します



★こども食堂月間★ 今年の「ありがとう」を伝えよう ～ 子どもの居場所から感謝を込めて ～



【概要】

- 1) 子どもの居場所等を運営する団体から「伝えたい感謝の言葉」等を当会まで送付して下さい
- 2) 事務局にて内容を確認後「子ども食堂月間」FBページに投稿します。
- 3) 当会が仲介した寄付・寄贈・助成については寄贈元等に掲載をお伝えします。

【期間】2021年12月1日（水）～2022年1月14日（金）



こども食堂ひだまり



きしょうこども食堂



しおりっちこども食堂

休眠預金事業 2020年度通常枠「食の物流ネットワーク整備プロジェクト」 物流・ストック・最適な分配を可能とするロジシステムの構築

食支援活動団体

NPO

行政

企業



これまでこども食堂のサポート機能強化によって
拡げてきたロジ拠点・ハブ拠点・地域の子ども支
援団体のネットワークと、各拠点をハード的に強
化したストックとシェアの仕組みを融合したロジ
システムの構築を目指しています。大量の食品を
全国に分配するために、広範囲なモノの保管・輸
送・流通の**循環モデル**をつくる事業です。



ロジ拠点：
大量の寄贈食品の保管機能をもった場所・倉庫
常温・冷蔵・冷凍の3温度帯に対応

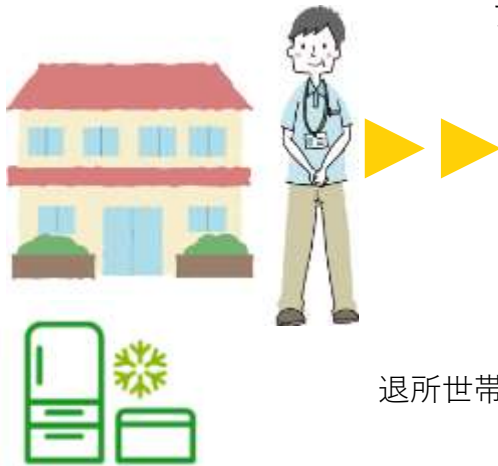


ハブ拠点： ロジ拠点の支店
活動団体を取りに行ける距離に設置された、
冷凍・冷蔵設備を有する拠点

休眠預金事業 コロナ緊急支援助成 母子生活支援施設との連携による福祉の公助の領域への支援拡充

母子生活支援施設

社協



フードパントリー団体への食料支援



退所世帯への食支援＋アウトリーチ活動



新型コロナウイルス感染拡大による影響により、貧困家庭への食支援の重要性が高まってきました。こうしたニーズの高まりにより、母子生活支援施設等の社会的養護の施設への冷凍・冷蔵・常温の食品の提供をできるように整備する事業を開始しました。

【助成額】 上限400万円／団体



本連携事例を活かし、全国母子生活支援施設協議会とも連携し飲食店のお弁当のマッチング・配布という新しい取組を実行することができた。
実行団体を含む**全国母子生活支援施設 87 施設**が参加し**5,993食のお子様弁当を無料配布**することができた。